

創立70周年記念誌発刊に向けて

山形大学農学部創立70周年記念誌作業部会（作業部長 高橋敏能昭和45年農学科卒）が平成26年9月に組織されました。委員数は鶴窓会から部長、農学部各コース（6コース）から1名、附属フイールド科学センターから1名総勢8名のメンバーで構成されています。

今までの4回の作業部会を開催しましたが、本記念誌の主な編集内容を紹介します。

【記念誌の主な編集内容】

総ページ数約300ページ、2段組、ハードカバーおよび見返し（ラシヤ紙）付きの冊子を予定しています。

山形大学農学部創立50年から平成29年の70年までの20年間の大学の変遷は目まぐるしく、特に第二次と第三次の二度にわたる学科改組、国立大学の独立行政法人化に伴う大学の評価、入学試験の多様化など国立大学の生き残りをつけて全国の窓会各支部および教員



(右)創立50周年記念碑



創立30周年と50周年の植樹記念碑

（左）創立30周年記念歌碑

更には、卒業生・修了生、在学生および現元教職員数10名からの寄稿文（1ページ予定）、新しくなった農学部の教育・研究棟や附属施設や各種設備等のカラー写真の掲載、歴代学校長や農学部長名（顔写真入り）、附属農場長・演習林長、事務長、名誉教授、各種組織（学友会、後援会、同窓会（鶴窓会）と鶴窓会各支部および教員

平成28年度 山形大学農学部学生研究支援事業について

鶴窓会副会長

齋藤 博行

(昭和45年農学科卒)

母校の発展に寄与すべく発足した本事業は平成21年から開始し、本年は8年目になります。当初計画では20課題の採択でしたが、会費納入が大幅に減少したことから採択件数の見直しが必要になってしまいました、わずか3課題に減らしました。

研究としては学問的な研究と現場課題解決型研究がありますが、生産現場からすれば経営リスクのない革新技术開発を大



学に期待している訳です。産地間競争や企業間競争のために個人や会社での独自研究開発が困難な場合は、母校に頼ってみるのはいかがでしょう。一課題あたりの学生研究助成金が5万円ですから、鶴窓会に5万円を寄付して頂きながら研究要望課題を出していただければ、採択に向けて事務局が農学部の先生と相談することが出来ます。なお、寄付を鶴窓会だよりの広告と兼ねることもありません。

これらの要望課題が将来の産学官連携研究事業に発展できれば、二石三鳥の効果を得られると思います。是非とも鶴窓会ホームページから申請書をダウンロードして頂き、事務局あてに送付願います。

また、研究支援事業の二環として本年3月の卒業式・学位記授与式終了後、同会場で農学部長表彰に次いで鶴窓会会長から成績優秀者に表彰状の贈呈を行う。鶴窓会の学生支援事業として紹介することができ



きました。

種々の塩水選の開発者、横井時敬博士は「農業栄えて農業減ぶ」「究学利用」と言っています。現場と大学は常に一体的であるべきでしょう。卒業生の持つ経験を大学研究に活かしていただきたいものです。



平成28年 山形大学農学部学生研究支援事業採択課題 (申請4件、採択3件)

1. 研究実施学生 岡部 友香 (農学研究科 生物資源学専攻)
研究課題「アルデヒド還元酵素遺伝子欠損マウス卵をモデルとした胚生産効率の高い体外培養系の開発」
2. 研究実施学生 山田 知加 (農学研究科 生物資源学専攻)
研究課題「微生物を利用した廃棄自動車からの有価金属の回収」
3. 研究実施学生 筑田 明心 (食料生命環境学科 水士環境科学コース)
研究課題「コンクリートライニングされた農業用水路での生態系維持に必要な空間条件」

平成28年 鶴窓会会長賞受賞者

大学院農学研究科 生物生産学専攻2年	川代 知寛
大学院農学研究科 生物資源学専攻2年	赤池 隆亮
大学院農学研究科 生物環境学専攻2年	飯沼 久仁佳
食料生命環境学科 安全農産物生産学コース4年	永井 涼
食料生命環境学科 食農環境マネジメント学コース4年	下館 千尋
食料生命環境学科 食品・応用生命科学コース4年	菅原 かほり
食料生命環境学科 植物機能開発学コース4年	平田 ありさ
食料生命環境学科 森林科学コース4年	武田 岬
食料生命環境学科 水士環境科学コース4年	大場 梢

平成28年度 春の叙勲を拝受

山形大学名誉教授、福島忠昭さんが教育研究功勞により瑞宝中綬章が授けられました。

誠慶賀なこととお祝い申し上げます。

第5回 「山形大学ビーチサッカー大会」の開催



校友会理事 鶴窓会副会長 齋藤 博行 (昭和45年農学科卒)

今年で5回目の開催となりますが、開催日の9月26日は朝から雨が降っていて心配しました。開会前には雨も上がって穏やかな天気になり、サーサーという波の音と海藻の香る潮風で心地よい試合会場です。

開会式では、農学部長の林田光祐先生、校友会会長代理の大場好弘副学長の挨拶があり、実行委員長の農学部早川弘夢さんの競技説明のあと、六チーム総当たり戦の試合が行われました。

今年60人ほどの参加者で、昨年より少なくなりましたが、鶴岡市で9月12日に天皇皇后両陛下を迎えての「豊かな海全国大会」が開催されたこともあって日程調整がなかなかできず、試合開催の通知が遅れたこともあるようです。

昼食は昨年同様、おにぎり焼肉でしたが、特に肉は例年どおり御子息が農学部を卒業した鶴岡市の長南牛肉店に手配したとのことで参加学生の評判は上々です。

選手の小白川キャンパスの学生で焼肉が楽しみで4回も参加したとの人もいました。来年は就職するので参加できないのが残念とのことです。本事業の目的でもある他学部学生との交流も結構あるようでした。

熱戦の結果、農学部のチームが4勝1引き分け、勝ち点13点で5年目にして初優勝を飾りました。

閉会式では、表彰と佐藤農一鶴窓会会長からの試合講評、校友会大沼事務局長の閉会の挨拶で終了しました。



同期会

「三六農会」

仙台市在住

富樫 二郎

(昭和36年農学科卒)

標記の会は隔年開催で今回は山形県天童市の天童ホテルで9月25日(日)～26日(月)の両日に開催された。
当日は秋晴れの好天に恵まれ、9名が参加した。最初に純米大吟醸山形大学「燦樹」(きら



後列左より峯田啓治、川越弘治、長岐吉一、門間克典、加藤英夫
前列同じく日下部功、柴田英行、富樫二郎(筆者)、横田学

めき)で乾杯し、その後各自の近況報告や山形、鶴岡でのあの頃のこと等をいろいろ語り合いながら至福の一時を満喫した。途中、門間氏による尺八の音色に一同しんみりと聞き入ったりしてあつという間に予定の時間が経った。最後に二年後鶴岡地区で必ず再会することをお互いに堅く誓い、今回の開催にあたりいろいろ御苦労された幹事の峯田、加藤の両氏に謝意を表して散会した。

「還暦同級会」を開催して

山形県三川町在住

齋藤 健一

(昭和52年園芸学科卒)

平成28年10月9日～10日昭和52年園芸学科卒の還暦同級会を鶴岡・湯野浜温泉「いさごや」で鈴木洋先生、高樹英明先生のご出席を賜り、盛会に開催しました。(出席者先生2名、男性12名、女性7名の計21名)

我々の同級会は卒業時この「いさごや」から門出し、還暦には湯野浜で会おうと誓いました。その後はほぼ4年毎に、福島飯坂温泉、新潟月岡温泉、東京上野、山形(ひまわり温泉とも煮会)、京都大原、仙台奥松島、秋田白神山、青森十和田湖、横浜みなとみらい、金沢兼六園、岩手宮古を回り、場所的にも還暦を迎えた訳です。

高樹先生はJ.A山形の依頼で、農業後継者にハウス園芸へ幹事として訪ねた時パブリカ)の栽培技術の指導者として活躍されており、鈴木先生も市内松ヶ岡で庄内名産の「だちや豆」栽培に汗を流して頑張っておられます。

30年振りに見る顔もありましたが、誰だかわからない人も多く、お互い無事と元気を確かめました。早めに来た人は全国的に有名な加茂水族館でクラゲと日本海に沈む夕日に癒されました。

一次会は18時開宴、各自の近況を報告し合い21時からの二次会はおうね。

ホテルの別室でいつものように車座です。今までカラオケに行った記憶はありません。夜遅くまでやったりつもりでも、シンドレラでは閉会。40年前はホテルの廊下にテーブルを出して明け方まで騒いでいた事を思い出すと「年を重ねたな」という印象です。

翌日は大学のご好意により大学の建物内をご案内いただきました。この場をかりて、感謝申し上げます。これから出来た南側6Fから見ると鶴岡の街並みを堪能し、「あれが啓明寮や」と歓声があがりました。気持ちは40年前の学生そのものです。その後、鶴岡公園内にある藤沢周平記念館で一時を過ごし、近くの「百けん塚」で鶴岡名物「麦きり御膳」を頂き解散しました。

現在は退職している年代ですが、65才までは働こうという人も多くいて、65才を過ぎたら同級生唯の故人、岩崎君の故郷、島根県にもいつかは訪ねたいねとの話も出ました。人生の折り返しはとづくに過ぎていますが、この出合いがいつまでも続くことを希望してやみません。

次回は2年後、教養部時代を過ごした山形内陸部が幹事です。山形市でまた会おうね。

昭和54年農芸化学科 卒同期会

鶴岡市在住

伊藤 祐二

(昭54年農芸化学科卒)

10月29日(土)は、午後3時から農学部102講義室で五十嵐喜治先生をお招きして山形農学部現況とこれからの方向性を講演していただきました。その後、五十嵐先生の案内で農学部キャンパスを見学しました。38年前に比べると建物も新しくなりソーラーパネル設備もあり6階から目に写る鶴岡の高層ビルを見てみんなビックリしていました。

夕方からは鶴岡市三瀬の旅館「仁三郎」に場所を移し宴会を行いました。鶴窓会からいただいた農学部の高坂農場産米のお酒をみんなでいただき新鮮な魚料理に舌鼓を打ち夜遅くまで学生時代の思い出や近況、将来のことを語り合いました。

翌30日(日)は天皇陛下もご覧された加茂水族館を見学しました。奥泉館長の30分にわたる情熱的な講演を聞きその後クラゲが約7千匹も泳いでいる直径5mの大水槽を見て感動しました。みなさん心に熱いものを感じたのではないのでしょうか。

今回は住所の判る37名の方に案内状を出し、最終的に16名の参加をいただきました。みなさん仕

事家庭・親の介護・その他いろいろな困難を乗り越えて鶴岡に集まってく下さいました。心から感謝しております。
私たちは、42年前に山形の小白川キャンパスで出会い40年前に鶴岡の農学部校舎で学び38年前に鶴岡市文化会館で卒業式をむかえました。同じ時代に同じ空間を共有してきた仲間ですから何か特別な縁を感じます。
これからはこの縁を大事にしてあせらず、無理せず、逆らわず5年後の再会を期待して笑顔で生きていきたいと思えます。



農学科OB会 芳賀 修一(昭和46年農学科卒)

平成28年11月7日「湯の浜温泉 愉海亭みやじま」にて開催。卒業生32名中出席者10名、日本海に沈む夕日に感動。久々の地元庄内の開催でした。



荒生(松崎) 真央里(平成21年生物生産学科卒)

平成28年11月5日「東京第一ホテル鶴岡」にて開催。同窓会復活です!またみんなで集まりましょう。

《同期会・卒業生の同好会等を開催予定の幹事さんへ》

開催予定の幹事さんは事務局までお知らせ下さい。会員のラベル(タックシール)もお作りしますのでご一報お待ちしております。10名以上参加の場合、山形大学農場産のお米で造ったお酒をお祝いとしてお送り致します。

「鶴窓会だより」への広告を募集しております。団体・個人(名刺判)等、受け付けております。事務局までご一報下さい。

山形大学農学部 鶴窓会事務局

TEL / FAX 0235-28-2897(平日8:30~12:30) E-mail kakusoukai@kdp.biglobe.ne.jp

